

令和5年

議会運営委員会記録

令和5年6月14日

和光市議会

議 会 運 営 委 員 会 記 録

◇開会日時 令和5年6月14日（水曜日）
午前11時15分 開会 午後 1時30分 閉会

◇開催場所 第2委員会室

◇出席委員

委員 長	安 保 友 博 議員	副 委 員 長	鳥 飼 雅 司 議員
委 員	吉 田 武 司 議員	委 員	伊 藤 妙 子 議員
委 員	菅 原 満 議員	委 員	鎌 田 泰 春 議員
議 長	富 澤 啓 二 議員	副 議 長	小 嶋 智 子 議員
委員外議員	萩 原 圭 一 議員	委員外議員	赤 松 祐 造 議員

◇欠席委員 なし

◇出席説明員 なし

◇事務局職員

議会事務局長	松 戸 克 彦	議 事 課 長	工 藤 宏
議事課長補佐	中 村 智 子	議事課副主幹	川 辺 聡

◇本日の会議に付した案件

埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について
令和4年度決算審査に係る要求資料について
令和5年度議員研修会について
議会報告会について
議会改革について

午前11時15分 開会

○安保友博委員長 ただいまから、議会運営委員会を開会します。

出席委員数が定足数に達していますので、会議は成立しています。

会議には、議長とオブザーバーとして副議長と2名の委員外議員に出席を求めていますことを報告いたします。

また、委員会進行の中で委員外議員からの意見聴取、発言の申出の許可は委員長に一任願います。

本日の案件は、埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について、令和4年度決算審査に係る要求資料について、令和5年度議員研修会について、議会報告会について、議会改革についてです。

初めに、埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について、議長から報告がございます。富澤議長。

○富澤啓二議長 埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について報告をします。

市議会議員選出議員に4名の欠員が生じたため、選挙を実施する旨の通知がありましたが、いずれも届出のあった候補者数が選挙すべき議員の数を超えなかったため、選挙は行わないこととなりましたので御報告します。

○安保友博委員長 ただいま議長から発言がありました件は、御了承願います。

次に進みます。

令和4年度決算審査に係る要求資料についてです。

前回の議会運営委員会で、昨年度の資料要求書を参考にした令和4年度分の要求資料案を配付しましたが、各会派から御意見をお願いしたいと思えます。

新しい風・希望、菅原委員。

○菅原満委員 新しい風・希望としましては、昨年度と同様で結構という結論に達しました。

○安保友博委員長 緑風会、吉田委員。

○吉田武司委員 緑風会といたしましては、昨年同様ということでお願いいたします。

○安保友博委員長 公明党、伊藤委員。

○伊藤妙子委員 公明党といたしましても、昨年度同様ということでお願いいたします。

○安保友博委員長 国民民主党・日本維新の会、鎌田委員。

○鎌田泰春委員 国民民主党・日本維新の会といたしましても、昨年同様と考えております。

○安保友博委員長 日本共産党、鳥飼委員。

○鳥飼雅司委員 日本共産党としましても、決算審査に係る資料に関しては、昨年と同様でいいものと思えます。

○鳥飼雅司副委員長 議事を委員長と交代します。

やさしい未来へ歩む会、安保委員。

○安保友博委員 やさしい未来へ歩む会としましても、昨年同様でよいと考えております。

○安保友博委員長 議事を副委員長と交代します。

委員外議員の皆様から、もしあればいかがでしょうか。

赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 和光・まちづくり市民の会も昨年と同様で結構です。

○安保友博委員長 萩原圭一委員外議員。

○萩原圭一委員外議員 私も昨年と同様でお願いします。

○安保友博委員長 休憩します。（午前11時17分 休憩）

再開します。（午前11時18分 再開）

それでは、各会派とも昨年同様ということでしたので、前回の議会運営委員会で説明のありました、新公会計制度の一般会計等財務諸表・全体財務諸表については削除をし、それ以外は昨年同様ということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、そのように要求いたします。

以上で、令和4年度決算審査に係る要求書についての協議を終了します。

次に進みます。

令和5年度議員研修会についてです。

各会派から事務局に提出された内容を取りまとめ、参考に配付しております。

実施時期、テーマ、講師等について、各会派から説明をお願いします。

緑風会、吉田委員。

○吉田武司委員 議員研修会のテーマ等について、事前にやさしい未来へ歩む会、また公明党の情報を聞いておりましたので、そちらで緑風会として調整をしていたんですけども、このどちらかがいいだろうということで、調整がつかず、12日の正午までに提出することができませんでした。

○安保友博委員長 公明党、伊藤委員。

○伊藤妙子委員 公明党といたしましては、8月の時期ということで、テーマは一般質問の機能を発揮させ政策議会を目指すというような内容で、土山希美枝氏を推薦させていただきました。私もお話を伺ったんですけども、多数の場で講演をされていて分かりやすく、市議会議員に合う内容だと思いましたので、御紹介させていただきました。

○安保友博委員長 続いて、新しい風・希望、菅原委員。

○菅原満委員 新しい風・希望としましては、議員活動とICT・AI技術の活用、それからスマートフォン利用と子供の健康・学習影響ということで挙げさせていただきました。講師については、なかなか内容的に探すのが難しい点もありますが、議員活動とICT・AI関係についてはそういった関係の勉強会があるそうですので、そちらで探して、やっていただければということです。

また、スマートフォン利用と子供の健康・学習影響は、最近の子供のスマートフォン利用で、子供の健康への影響が指摘されていますので、挙げさせていただきました。講師については、謝礼や時期が合えば、研究を進めている東北大学の加齢医学研究所から来ていただければと思います。

○安保友博委員長 続いて、国民民主党・日本維新の会、鎌田委員。

○鎌田泰春委員 国民民主党・日本維新の会といたしましては、テーマとして発達障害の社会のハードルについて学ぶという形で挙げさせていただきました。こちらの講師の方に関しましては、ADHDの当事者でありまして、今まで一般企業で働いていたんですけども、そこでハードルを感じて仕事をやめられて、今、このような講師業をやられている方です。

理由としましては、現在様々な発達障害などで、目に見えない障害というのは、近年、障害の認知により診断数も増えていっておりますが、一方で社会や行政のルールというのはまだ未対応な部分が多く、これからルールの整備だったり、福祉の支援というのが求められている中で、我々議員が当事者の声を聞く必要があるのではないかという意味合いで、このような講師の方を推薦させていただきました。

この実施時期だったり、テーマ並びに謝礼については、講師の渡辺すみれ子さんにはお伝えしており、この内容であればお受けすることができますし、議員の方向けに内容をさらに変えて御案内することも可能というお話はいただいている状況になります。

○鳥飼雅司副委員長 議事を委員長と交代します。

やさしい未来へ歩む会、安保委員。

○安保友博委員 事前に提出したものに加えまして、先ほど追加資料ということで出させていただきました。こちら併せて御検討いただければと思っております。

1つ目は、議員間討議・反問権などの導入についてです。こちらは、講師はまだ未選定ということで、これから検討かなと思います。

2つ目は、議員の資質向上についてです。講師は、川本達志先生という方で、広島県の廿日市市の元副市長です。常日頃から自治体の議員の資質向上について、かなり精力的に活動されている方なので、もしよければこの方をお呼びしたいです。

それから、追加で障害平等研修ということで、DE T研修というのがあります。こちらの目的は、障害者に対する差別の撤廃と合理的配慮の提供を推進するということです。DE T研修の講師ということで、5人ほどお呼びして自分たちでそのDE T研修を行うということです。

もう一つが、市民から信頼される議会等というテーマです。講師として、早稲田大学マニフェスト研究所の事務局長で、元徳島県川島町の町長でもありました中村健氏ということで、テーマどおりの内容となっております。

議員研修会のテーマとしては以上です。

○安保友博委員長 議事を副委員長と交代します。

委員外議員の皆様からも、もしあればいかがでしょうか。

赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 和光・まちづくり市民の会としては、これからの時代は、多様な市民が非常に多くいらっしゃるの、多様な市民との合意形成に必要なコミュニケーション能力、またファシリテーションについて、議員にとっても大切なことなので、そういうテーマのお話を聞きたいと思っています。大学の教授でもいいし、自治体の支援をするところからでもいいと思います。

理由としては、これから様々な行政課題だとか、問題解決のために、多様な市民とのコミュニケーション能力をアップして、それをリードするファシリテーションを学ぶということでテーマにしたいと思います。

○安保友博委員長 萩原圭一委員外議員。

○萩原圭一委員外議員 私は自治体DXをテーマとして挙げさせていただきました。例えばRPA、市民が書いたものを職員が入力せずに、そのまま自動的にシステムに情報が入るようなものとか、そういうのが自治体でかなり導入が進んでいます。そういうことで、どんどん重要になってきている自治体DXについて学ぶべきだと思ひまして挙げさせていただきました。

時期としては、8月か10月頃、やるなら早めのほうがいいかなと思います。

○安保友博委員長 休憩します。（午前11時30分 休憩）

再開します。（午前11時42分 再開）

各会派から御提案、説明がありました。

まず、テーマと講師については、調整がありますので、3つぐらいを選び、優先順位を決めたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、3つの候補としまして御意見のある方はお願いいたします。

公明党、伊藤委員。

○伊藤妙子委員 3つの候補に、大枠に選定しておくかどうかと思うんですけども、例えばDX系、そしてまた、政策議会、議員としての資質というような内容の分野と、あと障害者目線のというような内容にするのか、それとももうこの中で候補、講師としても選ぶのか、その辺どうでしょうか。私はその内容で3つの候補としておいて、その中で具体的に金額とか、時期とかの条件が整うもので、それぞれ絞っていくというような決め方ではどうでしょうか。

○安保友博委員長 国民民主党・日本維新の会、鎌田委員。

○鎌田泰春委員 ありがとうございます。今の議論で重要だと思うのが、やはりどれだけ確実にできるかどうかということかなと思っています。それを踏まえると、現状でしっかりと講師が決まっているとか、あとはある程度予算額に収まりそうだということを考えて上でいうと、恐らくやさしい未来を歩む会のDET研修であったりとか、もしくは私が出させていただいた発達障害のハードルなど、そういった形である程度線引きで講師が想定されていたりとか、予算の見通しが立てるものを現段階で取り上げた上で、それについて議論するほうがいいのか

なと思うんですけれども、どうでしょうか。

○安保友博委員長 日本共産党、鳥飼委員。

○鳥飼雅司委員 日本共産党も今の鎌田委員に賛同するんですけれども、この研修会をいつやるのかまだ決まっていなくて、もしも決まっていなくて、来年とかになるのであれば、どういった研修をするのか、もうちょっと詰められる時間はあると思うんです。今回こういう議題が出されて、講師料などが明確に出されている。今回決めるのであれば、明確になったものからピックアップして依頼していったほうがいいなという、だからそこら辺をどのように進めていくのかははっきりさせて、今回決めるのであればもうはっきり値段などが分かっているものを選定してやっていくべきなのではないかなと思っています。

○安保友博委員長 そうすると、今御意見いただいた中で実現可能なもの、金額と講師ということでピックアップすると、1つ目が国民民主党・日本維新の会から出されております発達障害の研修、それからやさしい未来へ歩む会から出されておりますDET研修、それから市民から信頼される議会等の3つとなりますが、これで検討していくということではいかがでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

今の3つの候補で異議ないということですが、調整していく優先順位を決めたいのですが、これについて御意見いただければと思います。

国民民主党、日本維新の会、鎌田委員。

○鎌田泰春委員 今回挙げられている会派以外の方から、例えば投票でこの研修を受けたいという形で優先順位を決めていくのがいいのかなと思ったんですけれども、どうでしょうか。

○安保友博委員長 新しい風・希望、菅原委員。

○菅原満委員 3つに絞られてきていますが、その3つの優先順位もさることながら、内容的なものもあるので、次回の議会運営委員会で正式に決めるという形にさせていただいて、その3つの中から選ぶということで、会派の中で検討させていただければと思いますので、その点御検討お願いいたします。

○安保友博委員長 今御意見がありましたが、本日はこの3つに絞ったところまでにとどめ、会派に持ち帰り、その協議の結果、次回の議会運営委員会で順位を決定するというところでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

では、そのようにいたします。

改めて確認します。候補として3つ挙げたのが、国民民主党・日本維新の会が提案いたしました発達障害（ADHD・ASD）の社会のハードルについて学ぶ、講師が渡辺すみれ子氏、2つ目がやさしい未来へ歩む会が提案いたしました障害平等研修（DET研修）、3つ目が市民から信頼される議会等、講師が中村健氏ということで、この3つについて御協議いただければと思います。また、併せて開催の時期についても各会派で御協議いただいて、次回の議会運営委員会で提案いただければと思います。

それでは、以上で令和5年度議員研修会についての協議を終了します。

次に進みます。

議会報告会についてです。

各会派から提出のあった協議事項をお手元に配付しております。

初めに、内容の構成について提出された案の説明を各会派からお願いしたいと思います。

緑風会、吉田委員。

○吉田武司委員 議会報告会についてもデータを6月12日、月曜日、正午までに提出することができませんでした。緑風会といたしましては、議会の報告テーマは、決算審議の概要、そして意見交換会のテーマについては今後話し合うということで、決定していました。

○安保友博委員長 公明党、伊藤委員。

○伊藤妙子委員 公明党といたしましては、議会報告のテーマは、昨年度の予算・決算と今年度の施策の進捗についてと挙げたんですけれども、委員会の報告と重なってしまうと思いましたので、ここは少し違ったかなと思っています。

また、意見交換会のテーマは、若者や女性が参加しやすい魅力ある議会ということで、漠然としているかもしれないんですけれども、もっと若者が興味を持てるような議会というような内容で意見交換できたらなと思います。

また運営全般について、この議会報告会の場というのは、あまり議員が個人的な意見を述べるというような雰囲気ではなく、なるべく市民の方々が多く意見を積極的に話しやすいような雰囲気づくりというのを心がけていただくということを1点挙げさせていただきました。

○安保友博委員長 新しい風・希望、菅原委員。

○菅原満委員 新たな構成を提案の中に入れてしまいました。これは運営全般についてのことで、御理解願います。基本的には、令和4年度決算についてということで、従来の質問、答弁だけではなく、事業の進捗状況だとか、そういったことも説明してはいかかということでもあります。あとは運営改善案というか、運営全般について記載をさせていただきました。議会報告会と市民との意見交換会で、テーマについては改めて決める形です。

○安保友博委員長 国民民主党・日本維新の会、鎌田委員。

○鎌田泰春委員 国民民主党・日本維新の会に関しましては、議会報告のテーマといたしまして、物価高対策について和光市がどのように取り組んでいるのかという提案をしました。

意見交換会のテーマといたしましては、市役所DX化と市民の利便性向上についてというテーマで、意見交換させていただきたいなと思っています。特に意見交換会のテーマについては、市役所のDX化がもしかしたら市民からすると使いづらくなってしまったり、もしくは新たな工数が増えてお金が増えてしまったり、様々なハードルがあったり、ユーザーの声を聞かなければ分からないテーマだと考えていますので、意見交換会としてはこのDX化というところに焦点を当てればいいのかと思ひまして、提案させていただきました。

○安保友博委員長 日本共産党、鳥飼委員。

○鳥飼雅司委員 日本共産党は、資料の提出ができませんでした。

議会報告のテーマは、毎年度決算の時期だったら決算、予算の時期だったら予算審査ということをやっているのです、そのままいいのではないかと考えています。

また、意見交換会のテーマに関しては、今まではフリートークだったり、そこの担当というか、そういう目的を持って行って傍聴者が少なかったのです、あえて議員から声をかけて呼ぶような感じだったんですけれども、今やっと議会報告会というのが定着してきたので、それこそ今市長が掲げているスーパーシティ構想を市民がどう思っているのかという意見交換をしたりとか、ほかの方々と議論をして詰めていけばいいのではないかと考えています。

○鳥飼雅司副委員長 議事を委員長と交換します。

やさしい未来へ歩む会、安保委員。

○安保友博委員 やさしい未来へ歩む会といたしましては、議会報告会のテーマはこれまで同様、決算審査の後ですので、決算審査の概要をやるということで考えております。

また、意見交換のテーマですが、特定のテーマを決められるならそちらのほうが望ましいと思いますし、決まらなければ前回踏襲でフリートークでもいいかなと考えております。一応会派として検討中の内容を、先ほど追加で出させていただきました。1つ目が、高齢者が生きがいを持てる福祉のまち、

2つ目が、みんなで和光をつくろうについて、

3つ目が、市民1人1人がつながり安心して暮らせるまちづくり、

4つ目が、健康づくりについて、特定のテーマということで絞るのであればこういうテーマがいいのかなということで提案させていただきます。

運営全般についてですけれども、前回の課題でありましたが、参加したい人を制限するような形になってしまうのはよくないということで、会場選定については前回よりも大きな会場を選ぶべきだなと思います。

それから、もう一つが時間についてもやはり意見出しが終わってないのに、ここで打ち切るのかという意見が相当多く出ましたので、実際参加した方が十分に発言ができるような時間の確保は考えて取り組みたいと考えております。

○安保友博委員長 議事を副委員長と交代します。

委員外議員の方から意見があればと思いますので、お願いします。

赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 私のほうは、議会報告のテーマは、最初に9月議会の概要を簡単に報告して、その中で新たに、市民にとって特筆すべき項目があったらそれを報告する。意見交換会は、市民の方に市政やまちづくりについて提言をできるだけ多く語ってもらうというのが私にはいいと思います。

それと、いつも一部の人が相当時間をとる場合があるので、参加者全員が提言できるように相手をする。人が多い場合、30人も来れば分配して参加者全員が一言でも提言できるようにす

ると、議会要望にもつながると思いますので提案します。

○安保友博委員長 萩原圭一委員外議員。

○萩原圭一委員外議員 私はテーマとしては、決算のポイント、決算の中の重要な事業を幾つか分かりやすく説明するというのと、議会で審査されたことのまとめということにしました。

あと意見交換会については、前回と同様にテーマを設けずに自由に意見を述べてもらえればいいのかなと思います。

あと運営について一つ提案をしたいのは、もっと多くの方に参加していただくために、9月定例会の本会議に傍聴に来ていただいた方に議会報告会のお知らせを1枚何か作って、それを傍聴に来てもらった方に事務局で手続をしたときについて手渡すとかということをするれば、もっとたくさんの人に来てもらえるのではないかなということ、そういうアイデアを提案したいと思います。やはり傍聴に来ていただいている方というのは、市政に関心が強い方々なので、議会報告会にも来てもらいやすいのではないかと思いますので、ぜひこれはやっていただきたいと思っています。

○安保友博委員長 休憩します。（午前12時00分 休憩）

再開します。（午後 1時18分 再開）

各会派から説明がありました。

これを受けて御意見のある方はお願いいたします。

公明党、伊藤委員。

○伊藤妙子委員 意見交換会のテーマがフリーというお声は何件かあったんですけども、前回たしかフリーでやったときに、市の施策に対してすごい意見があり、時間がとられて、ほかの自由意見をなかなか出しにくい雰囲気にもなってしまった印象がすごく残っています。私はテーマをフリーにするのは避けたほうがいいのかなと思います。

○安保友博委員長 国民民主党・日本維新の会、鎌田委員。

○鎌田泰春委員 私も伊藤委員の、テーマを特定させたほうがいいのではないかという意見には賛成です。ある程度いろいろな考え方が皆さんある中で、このテーマについて話しましょうという形式をとったほうが進行の上でもスムーズかなと思いますし、あともう一つ意見としては、タイムキーパー制を導入するのがいいのかなと思っています。それで例えば極端に1人の人が話し過ぎてしまうとか、そういったものは防ぐような形式をとるべきかなと考えています。

○安保友博委員長 赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 1人の人がマイクを独占して強く話すので止められなかったんですけども、タイムキーパーが制限時間でチンと鳴らして譲るというのは大切だと思います。そうすればフリーでも語れると思うんです。できるだけフリーで多くの人がしゃべりやすい雰囲気をつくるというのが大切だと思います。多くの意見が出れば出るほど成果が出るわけですから、私はそのほうがいいと思います。

○安保友博委員長 実施の中身については、今後要領をつくっていく中で盛り込んでいけばい

いのかなと思いますので、そういう御意見をいただければそれを盛り込んでいくようにしたい
と思います。

緑風会、吉田委員。

○吉田武司委員 緑風会としては、テーマを決めて実施、また運営全般については対面で実施
の場合はユーチューブ配信はしない、DVDの貸出は行うということで提案したいと思います。
そして、追加資料を皆さんにお配りしたいんですけども、よろしいでしょうか。

○安保友博委員長 休憩します。（午後 1時20分 休憩）
再開します。（午後 1時25分 再開）

ただいま緑風会から追加資料として提出をしたい旨がありましたけれども、受け入れる形で
よろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

そのようにいたします。

今後の取扱いについて、協議の方向性として確認したいのですが、一度会派で持ち帰りをして、
今後の方向性と、あと先ほど御意見もあったように、実際にどのような形で議会報告会を
やっていくのか、要領をつくっていくに当たっての要望、意見などを検討していただいて、次
回の議会運営委員会を出していただければと思いますが、本日はそれでよろしいでしょうか。

日本共産党、鳥飼委員。

○鳥飼雅司委員 1点、前回つくった要領を新しい議員に配付したいので、事務局のほうで用
意することはできますでしょうか。

○安保友博委員長 工藤議事課長。

○工藤宏議事課長 前回の要領につきましては、改めて配付させていただきます。

○安保友博委員長 それではそのようにいたします。

開催時期や場所などについても同様に、併せて御検討いただいて、次回以降の議会運営委員
会において協議できればと思いますので、よろしく願いいたします。

以上で議会報告会についての協議を終了します。

次に進みます。

議会改革についてです。

前回の会議において、議長からなるべく早めに、かつ丁寧に取り組んでいただきたいとお話
がありました。

改選後、新たなメンバーになったことも踏まえ、今後どのようなテーマについてどういった
スケジュール感で議論を進めていくか、方向性を検討したいと思います。

テーマについては、前期の申し送り事項として反問権の付与、議員のハラスメント防止、議
員間討議、図書室の活用などがあります。また、前回の会議で議場における国旗及び市旗の掲
揚について提案がありました。

次回以降、現時点での項目決めとスケジュールの検討をしていきたいと思いますが、いかが

でしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

それではそのようにいたします。

以上で議会改革についての協議を終了します。

次に、議会運営委員会の日程を確認します。

6月22日、木曜日、本会議終了後、特定事件の閉会中継続審査申出の報告及び決定について、市議会のしおりについて等を議題とします。御出席いただきますようお願いいたします。

議長からその他の日程についてです。

富澤議長。

○富澤啓二議長 全員協議会の開催についてです。

6月27日、火曜日、本会議終了後、予算決算常任委員会の後に行う予定であります。内容は内部統制についてです。

○安保友博委員長 ただいまの件についてはよろしくお願いいたします。

その他、委員の皆様から何かありますでしょうか。

〔「なし」という声あり〕

なければ、以上で本日の議事は全て終了しました。

本日の記録及び会議の公開資料については、委員長に一任願います。

以上で、議会運営委員会を閉会します。

午後 1時30分 閉会

和光市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 安 保 友 博